

計画停電に対す Leica 社製品の対応方法

東北関東大震災の影響により、東京電力では本日より計画停電が実施される事になりました。Leica 社製の各装置につきましては、停電前と回復後に確実に実行して頂き、装置を正常な状態に保つて頂けます様にお願ひ致します。個別装置の操作方法は、取り扱ひ説明書を参照下さい。

クリオスタット CM シリーズ： CM1850 (UV)、CM1900、CM1950、CM3050S

日常的に使用しない場合は、節電の為に電源を切り 使用する時に電源を入れる事を推奨します。チャンバー内の清掃、乾燥、等注意する点は下記 2) を参照下さい。(使用可能な -20℃程度まで冷やす為、5 時間程度必要です。)

- 1) 毎日使用する場合は、停電前にチャンバー内にドライアイスを入れて電源を切ります。ドライアイスの減り方を見ながら適時追加して下さい。停電回復後は、電源を入れそのまま使用可能です。
【注意】チャンバー内は二酸化炭素が充満していますので酸欠に注意。
- 2) 数日間、長期間 使用しない場合は電源を切り、チャンバーの清掃と乾燥が必要です。
 - * 内部切り屑を清掃する。(廃棄は施設の処理ルールに従って下さい。感染症の切片を切削している場合は、UV やクライオフェクトを使用してください。)
 - * 替刃を外し、付属品の清掃をする。
 - * 電源を切り、ウインドを開けて内部を乾燥させる。
 - * 廃液タンクの廃液を廃棄する。(廃液タンクが無いモデルがあります。処理は施設の処理ルールに従って下さい。)
 - * バキュームクリーナーのフィルターを 交換する。(オプション) (廃棄は施設の処理ルールに従って下さい。)
- 3) 使用する 5 時間程度前に電源を入れて下さい。機種により表示が出る事があります。
Dry Microtome： CM3050(S)で表示。 “鍵マーク” のボタンで解除します。
E001 or E011： CM1850(UV)、CM1900 (UV) で表示。
“鍵マーク” 又は他のボタンで解除します。
注) チャンバー内部に結露が発生した為、乾燥を促す表示です。
結露した状態で冷却を開始した場合は、凍り付いて動作しない場合がありますので御注意下さい。

お問い合わせは、サービスコールセンターへお願いします。

0 1 2 0 - 0 1 9 - 6 3 8

support@leica-microsystems.co.jp

2011 年 3 月 14 日
ライカマイクロシステムズ株式会社
バイオシステムズ事業部
サービスマネジャー 菊池秀生